

# 天然自然の摂理～元の理～

2021.2.21 ver. -作成途中- ©小林真

人間が生きて意味。それは人を助け楽しませ、遊び心の中に喜び勇む道、「陽気遊山」にある。自分の身体、又、この世の全ては、陽気遊山の為に借りている物で、心のみが自由に存在である。心が自ら陽気遊山に向かう時、現実はずいぶん変わる。この図表は、世の中の事象・現象を全て解き明かすものである。深く思案してみてください。

どんな道も、案じ心は持たぬよう。 ※「理」=事実、要因  
 どんな時も、この身、全てを借りているのを忘れて。どんな小さな事象にも、自分にとって何かの意味がある。

十柱の働きには、「陰の働き=神」主体(陽3:陰7)のものと「陽の働き=人間」主体(陽7:陰3)のものが存在する。

自分ではなく、周りを立てる心。普段は見えない陰で下から支え、大事な所で俊敏に足を運びつつ支える。局面を見極める洞察力と仲間(他の骨)との密接な連携が欠かせない。

足の役割。頭高く、影で下の方から支える柱の働き。ここぞという所で俊敏に硬化する働き。物事が治まる理。

物事の道理に沿って、時句に引き出し、成長をもたらす状態。

不足：  
 物事の表面部分が目について、隠れた長所や本質を引き出せない状態。また道理に反し、引き出し方に無理がある状態。

ぬくもりが陰の働きを引き出す、実りの働き。動植物の成長は、日光によって引き出される。

聞き上手が話し上手に。耳を傾け、勇み心を八方へ。

耳を傾け平衡に持っていく。心地よい流れを与える。

不足：①受け手にとって、風がしつこい状態。暴風状態。声や思いが通らない。受ける側は身動きが取れず、聞き分け、嗅ぎ分けできない。肥(声)をやり過ぎ、乾いて枯れた状態。

②受け手にとって、風通しが悪い状態。言葉足らずで心がじめじめと腐る状態。湿気、陰気臭い、しけた顔、ため息、虫がわく、カビ。また過度に閉め切る為に鳴る、金切声(耳障り)の状態。陰口、愚痴、毒を吐く、愛想尽かし、切り口上、捨て言葉、誹謗中傷、悪口を聞く

言葉を命 波動性 陽の性質 粒子性 酸性 この世。人間の世界。変化を楽しむ心。塩分 辛味

をもちり不足時：  
 冷感性、悪寒、低血圧、貧血、極寒、低体温etc.

挨拶は風の働き。声は肥。相手の状態に合わせて柔軟にかけ言葉は変えよう。

神の精神世界。見えない世界。無意識領域。本心。魂。心定めが全ての起点。お陰様の理。朝起き 陰徳の心。天の理と心の理を合わせよう。アルカリ性 高血圧、不安症 ストレス過多、高熱、過緊張、不眠症、眼の身上 etc. どこまでも、ひくい、やさしい、すなおな心、真実の心で。

物事の主軸、起点となり、先の楽しみを見定める。ほこりや汚物を洗い流し澄ませる。冷静で、広大な海。目の前ではなく、遠くの景色(目的地)を見るから落ち着く。気長にやさしく。見えない陰で尽くす楽しみ。"目は心の窓" 眼は心根の現れ。

月天父 陰の性質 左親指 7分

物事の起点となり、目的を持ち 希望に向かって陰で尽くす心

①くにとこたち

体内：眼、心根、睡眠、感覚神経 副交感神経、涙、潤い、体の70%水分  
 世界：水、水素、雨、根、夜、N極 マイナス電子、地球の70%水分、宇宙の70%暗黒エネルギー

⑥月よみ 7分

陰で周りを引き立て支え、大事な所で俊敏につばる心

体内：骨、首、足腰、男一の道具  
 世界：つっぱり支える働き 立てる働き、柱、茎、岩石、地殻 遠心力、膨張力、反発力 外へ移動、凸型 六日六日おさまる 七つづくに治まる

④いざなみ 女、苗代(環境)の働き 素直に受け入れ育む心 四日 仕合わせ

③いざなぎ 男、種(元)の働き まっすぐな堪能の心 三日 みにつく

陽気づくめの心

⑨をふとのべ 7分

時句を見定め、陰の働きや隠れた長所を根気よく引き出す実りの心

体内：出産時に子を引き出す働き 身長、爪、毛髪の成長、思い出す、閃き  
 世界：引き出し一切、潜在的なものを引き出す働き、教育 動植物の成長

⑧かしこね 7分

新たな流れを与える働き。言って勇ませ、聞いて楽しむ心

体内：息、呼吸、鼻で吸い(加温、加湿、清浄) 口で吐く(冷暖房、加湿除湿) 声、言葉、耳、聴覚、平衡感覚  
 世界：風、音、空気、振動、波動 潮の満ち引き

⑤くにさづち 3分

陰の働きを有難く思い、こみ上げてくる明るいぬくみの心

体内：体温、活力、炎症 感情、交換神経、運動神経  
 世界：火、太陽、熱、光、電気 マントル、エネルギー、晴れ プラス電子、S極、昼

⑩たいしよく天 3分

仕切る働き。陰を閉じて冷静に思い切り、切を付けて進み出す心

体内：出産時に親子の胎縁(臍の緒)を切り、死ぬ時に息を引き取る働き。散髪、爪切り  
 世界：切ること一切 細胞分裂、食物の収穫

⑦くもよみ 3分

必要不要を嗅ぎ分け、味わい咀嚼して迎入れ、残留物は流す循環・順応の心

体内：嗅覚、味覚、咀嚼、飲み込み、消化、吸収、排泄、代謝、解毒、免疫、循環調節 理解、記憶、(不要な情報を)忘れる、生活リズム  
 世界：あらゆる循環(水など)、溶解(分解、酵素)→蒸発(吸収、分離)→気体→雲(凝固、老廃物)→降雨、降雪(排泄)

②をもちり 3分

陰の働きを有難く思い、湧き上がってくるぬくみの心。温かい光で周りを明るく照らす、見える働き。物事の原動力となる。我が事を忘れ、人を喜ばせ、助けたいという思い。感謝、情熱が行動へ

くにとこたち不足時：  
 高血圧、不安症 ストレス過多、高熱、過緊張、不眠症、眼の身上 etc. どこまでも、ひくい、やさしい、すなおな心、真実の心で。

『この道は言うて聞かす道やない。行つて見る道や』自ら勇んで通り、その姿を周りや社会へ映していく時、世界が変わってくる。遅しい往還道へと繋がっていく。また、見聞き、経験する事象、現象が、なぜ、どういう理で現れたのか、"自分は" どういう理を尽くすのか、自ら思案し悟ることが大事になってくる。同じ物事でも見方が変われば、景色が変わる。全て心通りに映っていく。

『自分の心が澄んだら、誰の顔みてもよい顔に見えるようになるで』

死ぬというのは、着れなくなった衣服を脱ぎ捨てるのと同じこと。

時を見定め、動きを止めて静かに思い切る。終わり&始まり

不足：  
 ①物事が処理しきれず、その状況を断ち切る状態。陰が勝手に下がってくる状態。強制終了状態。  
 ②物事への執着が強くなり、先安や保身の考えが先行して、先へ進めない状態。不安や心配などで、陰を閉じ切れないう状態。割り切れず思い切れず、踏み切れないう、けじめがない。切れ味が悪い、保守的

物事の道理に沿って、柔軟に循環する状態。

不足：①物事を強引に受け入れ、闇雲に流れてしまう状態。暴飲暴食・下痢状態。咀嚼しきれず、味わえず、消化・吸収できず。大雨洪水状態。物忘れの傾向。  
 ②物事を柔軟に受け入れず、流れに反して物事に執着し手放さない状態。偏食、拒食or便秘状態。干ばつ状態。過去や現状に執着し、老廃物を流せない状態。嫌な事が頭に浮かび、忘れられない傾向

→①&②：物事が身に付かず、朝を迎えられない。新たな清々しい空気、新鮮な景色を迎えられない、無理な辛抱や我慢

必要不要を嗅ぎ分け、味わい咀嚼して迎入れ、残留物は流す循環・順応の心

必要なものを循環させて。苦(苦)のない循環はない。

人々を助ける処に、自分が助かる。相手とともに、皆で助かっていく道。

【ヒント！】  
 【二つ一つの理と7分3分の均衡】  
 対になる働きは助け合い、シーソーのように連動して作用する。  
 ①くにとこたち：②をもちり=7:3  
 ③いざなぎ：④いざなみ=1:1  
 ⑤くにさづち：⑥月よみ=3:7  
 ⑦くもよみ：⑨をふとのべ=3:7  
 ⑧かしこね：⑩たいしよく天=7:3

隣り合う働きも夫々似ており連動している。なのでこの図は3Dで立体視することも可能に思われる。

人の埃が見える間は、自分にもそれだけの埃がある...  
 心のほこり(※毎日払い、人にほこりを積まされよう) おいしい、ほいしい、かわいい、よく、ごうまん 嘘、追従(我が身心を捨て、口と心と行い揃える)